



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和4年1月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

新しい世界への出発の年に

校長 岡本 修一



新型コロナウイルス感染拡大により、多くの方が亡くなり、今なお治療されている方がおられます。ここに謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

新年明けまして、おめでとうございます。希望に満ちた令和4(2022)年スタートしました。

みなさん、年末そして年始へと「早寝・早起き・朝ごはん」は続いていますでしょうか。明日12日からいよいよ中学校給食がスタートします。これからも、ますます「食」について学んでいきましょう。

旧年中は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

さて、今年も私がお正月になると楽しみにしている箱根駅伝がおこなわれました。1月2日と3日にたすきをつなぎ、最後の最後まであきらめずに、一所懸命走る大学生たちの姿を美しく感じます。今年は青山学院大学が2年ぶり6回目の完全優勝、1日目の往路、2日目の復路ともに優勝は青山学院大学でした。今年もたくさんの新記録ができました。駅伝は走る人だけでなく、水を準備して渡す人、応援する人など、それぞれが自分の役割を果たし、みんなの思いを背負い、チーム全員が協力して1つのたすきをつないでいく。特に大学4年生は最後の出場ですから、下級生に次のチームの伝統と願いをたくし、たすきをつないでいく姿にとっても感動します。



【今年をどんな1年に・・・】

2022年は「寅年」です。十干が「壬(みずのえ)」、十二支が「寅(とら)」の年にあたるので、十干と十二支でいいますと、干支は「壬寅(みずのえとら)」となります。十二支や十干は、それぞれ意味を持っています。例えば「壬」が持つのは「生まれる」という意味です。「寅」は「成長する」という意味を持っています。この2つの組み合わせである壬寅には、「生まれたものが成長すること」や「新しく立ち上がる」といった縁起のよさを表していると言われています。

昨年までは、新型コロナウイルスの感染拡大が大きな影響を与え、やむなく閉店や退職された方もたくさんいました。しかし、一方で宅配業務はもとより、飲食配送業といった新しい業態の利用が増加しています。



今年の寅年は、皆さまにとっての新しい芽が「成長する」、新しい日常が「始まる」年になって欲しいと願います。

まさに新しい時代のスタートの兆しを感じます。新しい年は、コロナの混乱を終え、新しい世界へのお出の年になりそうです。今はまだまだつらいこともあるけれども、みんなで「新しい時代に向かってがんばろう!」という年にしていきたいと思います。

【1.17地震、津波避難訓練をおこないます】

1995年1月17日午前5時46分。阪神淡路大震災が発生し、私たちの大切なものを数多く奪っていきました。あの震災から、まもなく27年を迎えようとしています。震災でお亡くなりになられた方を追悼するとともに、震災で培われた「きずな・支えあう心」「やさしさ・思いやり」の大切さを次世代へ語り継いでいくため、1月17日(月)に本校では1.17地震・津波訓練を実施します。ご家庭や地域でも地震・津波災害時の避難について話し合いをしていただきますようお願いいたします。



【一富士二鷹三茄子】

夢にみるもののなかで縁起のよいものですが、とくに正月2日の初夢の縁起に用いられるそうです。語源については、このことわざが広がったとされる江戸時代中期に、駿河(するが)国(静岡県中央部)のことわざで、駿河の名物を順にあげたとする説がもっとも有力であるそうです。その他の説としては、富士は高く大きく、鷹はつかみ取る、茄子は「成す」に通じて縁起のよい物とするなどがあるそうです。いずれの説にしても、いい夢を見て気持ち良く一年の始まりをスタートさせたいのは、今も昔も変わらないことなのでしょう。

また、「一年の計は元旦にあり」という新年にまつわることわざもあります。一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だということ意味があるそうです。自分なりの目標を持って行動することはとても大切なことです。



今年も本校生徒の幸せのために、職員一同、仲よく、元気に、そして「チーム立花中」で力を合わせて生徒たちを支援してまいります。皆様方の今後一層のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。保護者、地域及び関係機関の皆さまにおかれましても、すばらしい2022年になりますよう祈念いたします。